

社会資本整備審議会道路分科会 平成27年度第4回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成 27 年 11 月 17 日 (火) 10:00～12:00

2. 場 所

中国地方整備局 建政部

3. 出席者

< 委員 >

ふじわら あきまさ
◎藤原 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

こいけ あつし
小池 淳司 神戸大学大学院 工学研究科 教授

こじま みつのぶ
小嶋 光信 両備グループ代表兼CEO

すずき はるな
鈴木 春菜 山口大学大学院 理工学研究科 准教授

ふくだ きょうこ
福田 京子 地域づくりネットワーク 代表

やまだ ともこ
山田 知子 比治山大学 現代文化学部
マスコミュニケーション学科 教授

※敬称略 ◎は委員長

4. 議 題

(1) 計画段階評価について

山陰道: 俵山～豊田 (第2回)

5. 結論

- ・山陰道「俵山～豊田」の計画段階評価の手続き及び第2回意見聴取することを了承する。
- ・比較案の評価にあたっては、時間短縮効果など具体的なデータを示し、地域への影響や整備後のイメージが持てるように工夫すること。
- ・アンケート項目について、公平性の観点から評価に係る部分を聞く場合には表現を合わせること。
- ・第1回意見聴取結果の分析について、道路整備に否定的な意見の分析を深めること。

6. 委員からの主な意見

○比較ルート帯、意見聴取に関すること

- ・第2回意見聴取については、整備による効果や地域への影響がイメージしやすくなるように、ルート帯案の比較に時間短縮効果などを具体的に記載するとともにアンケート項目の表現を工夫すること。
- ・アンケート項目について、観光施設や地域の集落への連絡性など、評価の異なる項目を設定する場合には、公平性の観点から表現を合わせること。
- ・今回のルート帯案については、全体計画の中の一部区間であり、部分最適は分かるが全体最適の視点が見えにくい。

○意見聴取の分析・評価に関すること

- ・意見聴取の分析については、今後の道路行政に役立てるため、全体の分析による評価だけでなく、否定的な意見についても分析・評価を行うこと。

○計画段階評価手続きの進め方に関すること

- ・計画段階手続きについて、道路の種類や目的に応じて、手続き内容や進め方を今後検討する必要がある。

都市部の道路整備の検討と山陰道のような地方のネットワークの一部として整備を検討する場合は道路に求められる機能が違うため、意見聴取により行われている課題・必要性の共有、複数案や比較評価の共有方法について、手法や回数
の検討を行うべき。

○今後の道路整備に関すること

- ・整備費用が高くても、非常時の代替性確保など必要な機能を満足するための事業について、費用対便益による現在の評価手法では整備が困難な場合があるため、今後、議論をしていくことが重要。

以上